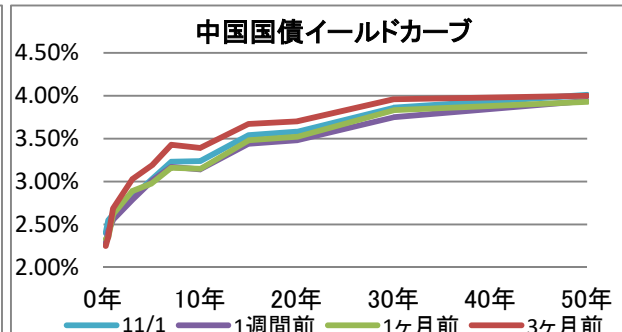
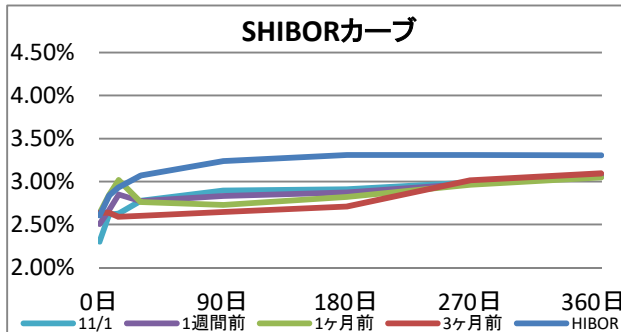


①市場概況

基準レート		2019/11/1	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0437	-0.0312
	JPY/CNY	6.5140	0.0007
SHIBOR	3M	2.8970%	+0.0240%
国債利回り	10年	3.28%	+0.04%
上海総合指数		2,958.20	+3.27



(1) 概況

米中通商協議の進展により両国対立のエスカレート抑制への期待が高まる一方で、米国議会では公的年金の対中投資規制の法制化が検討される等、米中関係の本格改善には時間を要するとの認識が一段と強まっている。また、31日に閉幕した4中全会は、香港でのデモの長期化により政治的な議論が中心となって経済政策への言及がなかったことから、株式と人民元が買い戻され、債券利回りも上昇しているものの、値幅はいずれも限定的。

中国人民銀行によるデジタル通貨発行の検討に続き、習主席によるブロックチェーン技術開発奨励に呼応する格好で、官民での技術開発が加速している模様。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、月末の財政要因により銀行システム内の資金は十分として、リバースオペ期日5,900億元に対し、新規リバースオペは実施せず、28日に国庫現金管理銀行定期預金600億元の入札を実施したのみで、市場で期待されていたTMLFも見送るややきつめの調整を実施した。

(3) 主な経済指標

- ・工業部門利益(9月)は、前年同月比△5.3%(前月△2.0%)と前月に続く減少となり、工業製品出荷価格の下落等が利益の押し下げ要因となり、国営企業の減収幅も一段と拡大している。
- ・国家統計局のPMI(10月)は、製造業が49.3%(9月49.8%)、非製造業が52.8%(同53.7%)と揃って低下したことから、総合指数は52.0%(同53.1%)に低下している。サブ指数も新規受注が50を下回る等、生産指数を含むほぼ全ての指数が低下する米中通商問題の影響を映じた厳しい内容。
- ・財新製造業PMI(10月)は、51.7(9月51.4)に上昇して3か月連続して50を上回り、2017年2月以来の水準に上昇している。新規受注が2013年1月以来となる高い水準となる等、国家統計局PMIとは異なる堅調な内容。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.3010%	2.3000%	2.5200%	
1W	2.6160%	2.6000%	2.7500%	
2W	2.6280%	2.8000%	2.3000%	2.5000%
1M	2.7750%	2.9800%	2.8000%	2.6500%
3M	2.8970%	3.5000%	3.3000%	3.0500%
6M	2.9100%		3.1000%	3.0600%
9M	2.9870%			3.1100%
12M	3.0790%			3.1200%

中国人民銀行が資金供給を見送ったことから、金利水準は高止まったものの、地方金融機関での信用不安の噂もある中で混乱なく月末を乗り切っている。ターム物の調達意欲は高まっていないものの、米中通商協議進展や一部経済指標の改善もあり、金利水準が低下に転じる状況にもなっていない。

NCD市場でも、発行市場ではレート水準を切り上げた発行が続き、流通市場でも運用側が年末を意識して短めの期間の選好を強めていることもあって、金利水準は高止まりの状況が続いている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	1.62%	1.65%
1W	1.75%	1.80%
1M	2.00%	2.10%
3M	2.30%	2.35%
6M	2.40%	2.45%
12M	2.55%	2.60%

中国国内の米ドル資金取引は、FRBの3回連続となる利下げ実施後は、短期の金利水準が利下げ幅に応じて低下したものの、年末が意識される時期でもあり、ターム物の金利水準には変化が見られない。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.51%	2.54%	3.04%	3.01%	3.28%
6M	2.63%	2.66%	3.06%	3.17%	3.42%
1Y	2.66%	2.77%	3.11%	3.25%	3.47%
3Y	2.88%	3.05%	3.42%	3.65%	4.05%
5Y	3.06%	3.32%	3.77%	3.99%	4.69%
10Y	3.28%	3.55%	4.19%	4.37%	5.43%

米中通商協議の進展期待や経済指標の一部改善に加え、米国公的年金の対中投資規制強化懸念や短期資金市場での金利水準高止まりから、中国国内債券市場では利回り上昇が続いた。国債は短期を中心に全体的に利回り水準が上昇し、信用債も利回り上昇が続いたことから、イールドスプレッドはフラットニングに転じ、クレジットスプレッドは短期、長期ともに拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	12.2 / 12.8
1M	48.5 / 49.5
3M	141.0 / 145.0
6M	230.0 / 240.0
9M	295.0 / 309.0
12M	350.0 / 375.0

対ドル基準レートは7.0437と前週末比△312pipsのドル安元高、対円基準は6.5140と同+7pipsとほぼ前週末と同水準となり、対ドル基準レートは元高に転じている。市場では米中通商協議への期待の高まりと米FRBによる利下げを受けて人民元買い戻しが進み、8月以来となる7.03台まで人民元が上昇している。

スワップ幅は、ドル買い需要の強さに加え、ドル金利の低下と人民元金利の高止まりを映じて、拡大に転じている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.81%		2.48%
6M	2.83%	3.00%	2.44%
9M	2.84%	3.07%	2.45%
1Y	2.85%	3.13%	2.55%
3Y	2.99%	3.38%	2.45%
5Y	3.14%	3.59%	
7Y	3.26%	3.72%	
10Y	3.39%	3.86%	

短期資金市場での金利水準を映じた短期の基準金利の高止まりと債券利回りの上昇を受けて、金利スワップレート水準も上昇が続いており、若干ながらフラットニングしている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。